



ネットワーク の強化

地域の発展と、暮らしや利便性の向上に貢献する
より安全で、使いやすいネットワークへ



新規建設事業中の新名神高速道路(大津JCT(仮称)～
城陽JCT・IC)城陽高架橋。



ひと、モノ、未来をつなぐ

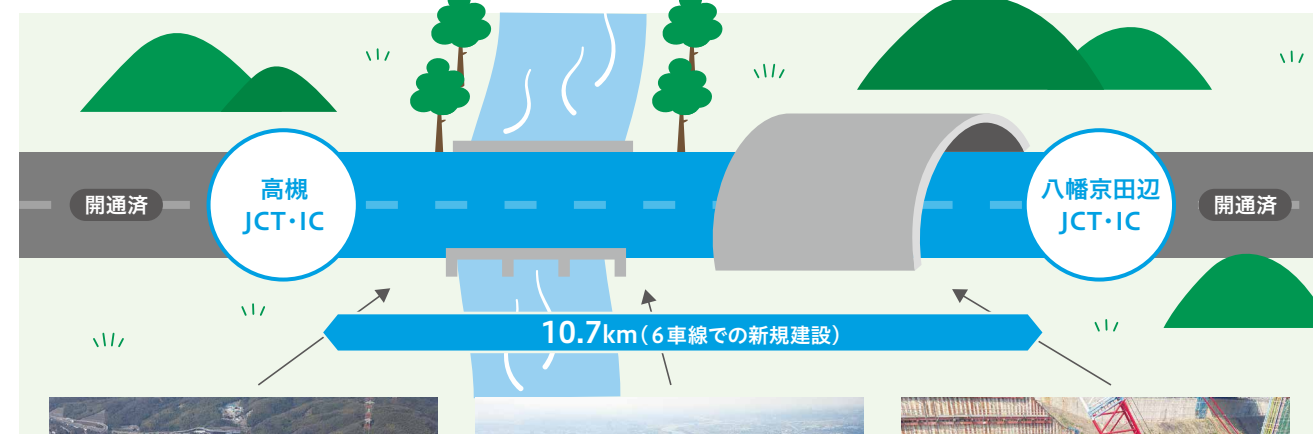
新規建設・6車線化

交通混雑の緩和、交通安全の確保、災害時の代替機能強化や地域活性化などを目的として、高速道路の建設を推進しています。

建設進捗情報



1 新名神高速道路



既設の鉄道・道路をまたぐ高槻高架橋



枚方市と高槻市をつなぐ淀川橋



枚方トンネル掘削の準備工事

担当者の声

安全・安心なシールドトンネル掘進に向けて



枚方トンネルは、シールド工法により枚方市街地を通過します。現在は、安全・安心なトンネル掘進に向けて、シールドマシンの組立や掘進に伴い発生する土砂を坑外へ搬出するための設備の設置などを慎重に行っているところです。

当事務所では、「国民に信頼され、地域に必要とされる!!」をスローガンに、地域の皆さまをはじめ、関係機関と緊密な連携を図り、1日も早い開通を目指します。

関西支社 新名神大阪東事務所 枚方東工事区 前畑 和幸

新名神高速道路建設事業のうち、八幡京田辺JCT・IC～高槻JCT・IC間については、2025年12月に完成時期の見直しを公表しました。引き続き、安全を最優先に工事の進捗を図りながら工程短縮に努め、1日も早い開通を目指します。

新名神高速道路
特設サイト



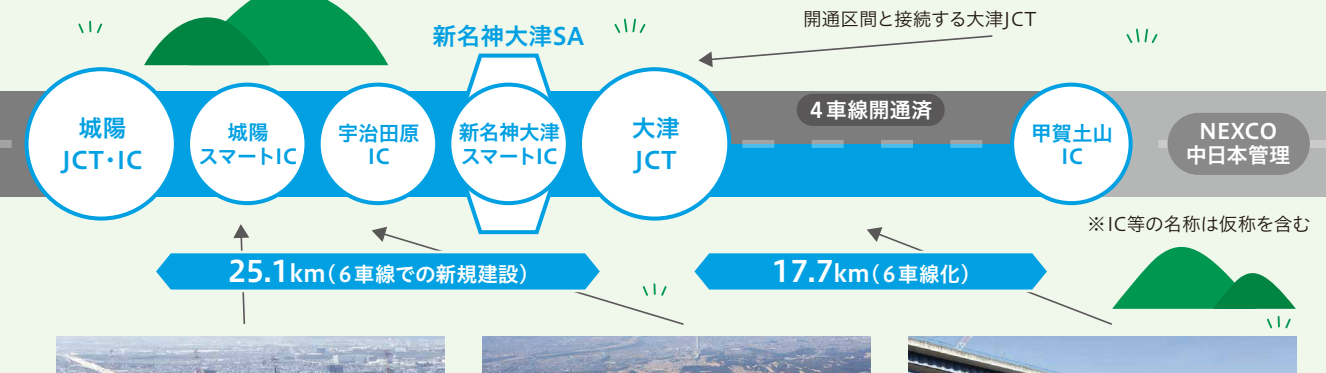
整備効果

- 国土軸のダブルネットワーク化
 - 名神・東名高速とともに国土軸の骨格を形成
 - 事故・災害時における代替路として機能
- 高速走行による所要時間の短縮及び定時性の確保
- 物流の生産性の向上
 - ダブル連結トラックやトラック隊列走行などの次世代物流システム実現に向けた環境を整備
- 観光産業・沿線地域の活性化

- 八幡京田辺JCT・IC～高槻JCT・IC 10.7km (6車線での新規建設)
- 大津JCT～城陽JCT・IC 25.1km (6車線での新規建設)
- 甲賀土山IC～大津JCT 17.7km (6車線化)



開通区間と接続する大津JCT



城陽スマートIC付近



宇治田原IC付近



杉谷川橋(下)PC上部工事

担当者の声

お客さまのご利用を止めることなく6車線化

開通済みの4車線をお客さまにご利用いただきながら新名神高速道路の6車線化工事を実施しています。このため、クレーンによる荷上げ作業に伴う開通済み車線側への落下物や、拡幅作業時の粉塵等の飛散について、最大限の注意を払いながら施工を進める必要があります。

また、本工事では現場状況などに応じて新たに採用する施工方法が多いため、日々検討と議論を重ね、安全性と施工性の両立を図りながら工事を進めています。

関西支社 新名神大津事務所 甲賀西工事区 見邨 朋哉



2 神戸西バイパス(第二神明道路北線) 永井谷JCT～石ヶ谷JCT 6.9km



平野東高架橋他6橋(下部工)工事

整備効果

1. 交通混雑の緩和による第二神明道路の事故減少
2. 物流ネットワーク拡充による東西方向の物流効率化
3. 第二神明道路の代替路の確保



樋谷西工事

3 大和北道路(京奈和道) 奈良IC～郡山下ツ道JCT、奈良北IC～奈良IC 12.4km



国道24号線交通規制状況

整備効果

1. 交通混雑の緩和・交通円滑化
2. 交通の転換による、国道24号の交通事故減少
3. 移動時間短縮による観光行動の支援
4. 沿線地域の整備による産業の活性化



発志院北第一高架橋他1橋(下部工)工事



大江第一高架橋他4橋(下部工)工事

担当者の声 交通量の多い国道における事業の円滑な推進について

奈良県の主要道路である国道24号沿いで工事を行っています。工事が本格的に動き出し、NEXCOのみならず多くの事業者が限られた夜間の時間帯に複数の箇所ですべて車線を規制して工事を行うため、道路管理者である国土交通省と連携し、円滑に工事を進めるための調整を実施しています。また、広報資料を作成し、関係機関へ説明・周知も行っていきます。国道を利用される方の安全を最優先に引き続き工事を進めていきます。

関西支社 奈良工事事務所 工務課 中西 美友



4 淀川左岸線延伸部 門真JCT～阪神高速接続部 1.1km



門真高架橋東(鋼上部工)設計・工事

整備効果

1. ネットワークの拡充による大阪都市圏の交通円滑化
2. 並行する都市高速における通行規制時の迂回路確保及び災害時の避難・救護活動を支える広域的な輸送路としての機能確保
3. 物流の効率化による沿線地域への新たな企業進出等、地域経済の活性化

業界全体で「誰もがいきいきと働ける建設業界」を目指す

▶女性技術者交流フォーラム

受発注者の若手女性技術者を中心に建設業のあり方を考える「女性技術者交流フォーラム」を、当社と日本建設業連合会で共催しています。女性技術者が当たり前活躍できる職場環境の創出は、男性や他の多様な人々にとっても働きやすい環境につながります。誰もがいきいきと働き続けられる建設業界を実現するため、業界が一体となり、偏見や差別の排除、キャリア形成支援、柔軟な働き方の提供など、職場環境の整備を行っていきます。



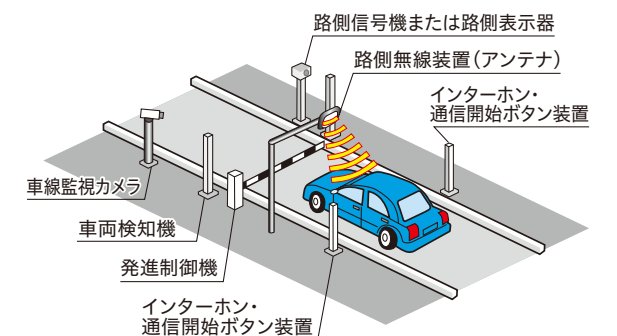
地域へのアクセス向上

スマートIC

スマートIC
設置情報



スマートICは、通行可能な車両を、ETCを搭載した車両に限定しているため、簡易な料金所の設置で済み、従来のICに比べて低コストで導入できるなどのメリットがあります。またスマートICの整備により、市街地や観光地へのアクセスが向上し、高速道路が更に利用しやすくなります。



▶2026年7月4日 開通予定 高松道 観音寺スマートIC



建設事業中スマートIC 15カ所(名称は仮称を含む)

安全・安心の更なる向上を目指して

4車線化



建設進捗情報



■ 暫定2車線区間の課題

▶ 速度低下・渋滞

4車線区間と比較すると規制速度が低く低速車両の追い越しができないため、後続車両を含め全体的に速度が低下し、渋滞が発生しやすくなっています。

→ 時間信頼性確保



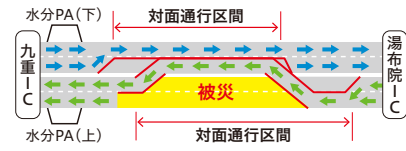
阪和道(印南IC～みなべIC)

▶ 通行止めの発生や長期化

- 事故や積雪等による立ち往生発生時に追い越しができず通行止めとなります。
- 大規模な工事を実施する際に、長期間の通行止めが必要となります。
- 災害発生時における全面通行止めの解除に時間がかかります。

→ ネットワークの代替性確保

「令和2年7月豪雨」の被災事例

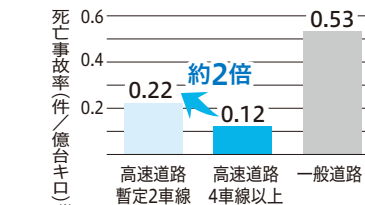


4車線区間では、上下線のいずれかが被災しても残る車線を対面通行とすることで、早期に交通機能確保し、復旧支援や緊急物資運搬等に大きく貢献できます。

▶ 正面衝突等による重大事故

反対車線と完全に分離する構造になっておらず、ひとたび事故が発生すると、正面衝突に発展する等により、死亡事故等の重大事故となるおそれが4車線区間と比較すると高くなっています。

→ 事故防止



※高速道路:2013～2021年 高速自動車国道(有料)
一般道路:2013～2021年 一般国道、主要地方道、県道、市町村道、その他道路
出典:自動車燃料消費費調査 月報の各年1～12月 高速トラカンデータ

事故防止の緊急対策として実施している区画柵の設置については、P.28へ

■ 課題への対応 —4車線化—

暫定2車線区間における課題を踏まえ、お客さまの安全・安心の確保、大規模災害時の早期復旧の支援等の観点からも、暫定2車線区間の計画的な4車線化を推進しています。



岡山道(有漢IC～北房JCT)



徳島道(脇町IC～美馬IC)



広島呉道路(坂北IC～呉IC)



凡例
●:営業中道路
—:建設中道路(新設・6車線化・4車線化事業等)
—:当社が管理するその他の道路
—:他の高速道路会社等が管理する道路

※IC等の名称は仮称を含む

2025年度の主な完成箇所

①松山道(伊予IC～内子五十崎IC)一部 2025年4月19日 4車線化完成



工事前



工事後

②東九州道(隼人東IC～隼人西IC) 2025年6月15日 4車線化完成



③東九州道(宇佐IC～院内IC) 2025年12月12日 4車線化完成



④東九州道(宮崎PA～清武IC) 2025年12月20日 4車線化完成



担当者の声 地域社会とのつながり

松山道(伊予IC～内子五十崎IC間6.3km)の4車線化事業では、開通前に地域の皆さまを対象としたウォーキングイベントを開催しました。参加者の声を通じて、高速道路が地域社会において重要な役割を担っていることを改めて感じました。今後も事業のPR・理解促進を図っていきます。



四国支社 愛媛工事事務所 工務課
上里 友空(左) 藤原 銀次(右)

担当者の声 円滑な交通確保に向けた交通運用切替

今回完成した東九州道 宮崎PA～清武ICは宮崎PAのON・OFFランプ部近辺に2車線から4車線へ移行するすり付けを設置する必要があり、4車線化完成前の段階的な交通運用切替が必要となりました。この切替の前処理や切替時の施工計画について受発注者・高速隊で丁寧に検討・調整を行って施工を進めました。

九州支社 宮崎高速道路事務所
宮崎工事区 中村 正文

